

2020 ^か ^{ぞく} 家族でかくにん!
わが家のぼうさい
コンテスト
入賞作品集



もしものときに^{そな}え、^か ^{ぞく}家族で^{はな} ^あ話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会
特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 協力／ミドリ防災

※本コンテストは、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策としています。

もくじ

2 入賞者一覧

3 審査委員名列

審査講評

審査委員長
福井工業高等専門学校
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

5 最優秀賞 作品紹介

鯖江市北中山小学校6年 増田 優里さん

7 優秀賞 作品紹介

福井市西藤島小学校4年 土田 彩絢さん

8 優秀賞 作品紹介

鯖江市北中山小学校4年 市村 優羽さん

9 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市社南小学校6年 山田 梨愛さん

10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井市順化小学校4年 藤本 大翔さん

11 JA 共済連福井本部長賞 作品紹介

福井市社南小学校6年 高橋 明日奏さん

12 入選作品の紹介

18 奨励賞作品の紹介

2020 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



鯖江市北中山小学校6年
増田 優里さん



福井市西藤島小学校4年
土田 彩絢さん

鯖江市北中山小学校4年
市村 優羽さん



福井市社南小学校6年
山田 梨愛さん



福井市順化小学校4年
藤本 大翔さん



福井市社南小学校6年
高橋 明日奏さん



福井市豊小学校6年
石橋 朱里さん

福井市社南小学校6年
小川 あいさん

福井市社南小学校6年
中村 美月さん

福井市社南小学校6年
中村 璃星さん

坂井市平章小学校4年
高島 莉望さん

坂井市平章小学校4年
坪田 みのりさん

坂井市平章小学校4年
中川 陽太郎さん

坂井市平章小学校4年
藤田 ちほさん

坂井市平章小学校4年
坪川 直生さん

坂井市平章小学校4年
稲垣 翔月さん

坂井市平章小学校4年
松江 陽南さん



福井市日之出小学校4年
櫻井 栄太郎さん

福井市社南小学校6年
北川 愛海さん

福井市社南小学校6年
森 麻友佳さん

福井市社南小学校6年
徳田 悠里さん

福井市社南小学校6年
松浦 知花さん

福井市社南小学校6年
新屋 琳子さん

福井市社南小学校6年
工藤 蒼依さん

福井市社南小学校6年
木村 悠生さん

福井市社南小学校6年
梅田 歩知さん

鯖江市立待小学校4年
橋本 稜央さん

坂井市平章小学校4年
寺前 津実希さん

坂井市平章小学校4年
齊藤 彩乃さん

坂井市平章小学校4年
北村 あかりさん

坂井市平章小学校4年
山本 睦弥さん

坂井市平章小学校4年
澤崎 煌さん

坂井市平章小学校4年
安居 美咲さん

坂井市平章小学校4年
蜷川 涼香さん

越前市吉野小学校5年
長濱 実桜さん

越前市吉野小学校5年
岩上 茉夏陽さん

越前市吉野小学校5年
横井 心瑚さん

坂井市雄島小学校4年
檜山 のあさん

審査委員名列

審査委員長 辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員 宮本 久仁彦氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
中村 直治氏	福井地方気象台長
三谷 清氏	福井県土木部副部長
龍田 雅人氏	あわら市土木部建設課長
山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業統括本部長
橋本 典明氏	NHK福井放送局長
岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長



審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

新型コロナウイルスの感染拡大は、コロナ禍なる災禍として私たちの生活を一変させ、防災活動にも大きな影響を与えることとなりました。このタイミングで、これまで蓄積されてきた仕組みや技術が突然採用されるなど、仕事の在り方を含めた「日常」の大きな転換が必要となりました。「避難」の方法自体が再考され、「難を避ける行動」の定義は学会からの提言として周知されました。少なからず、私たちは、この災禍をきっかけに避難所運営を含めた防災活動を見直すことが必須となりました。以上の点を含め、2020年は“これまでの防災”と“これからの防災”が切り替わる境界の年と捉えることができます。

さて、この状況下において、当コンテストは第7回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」に加え、スケールの異なる「わが町の防災コンテスト」を新たに組み合わせる形での開催となりました。コロナ禍の影響もあり、募集期間等を調整する必要はありましたが、実施できたことを嬉しく思っております。ふたを開けてみれば、両コンテストともに良い意味で想定を上回る応募があり、応募数から見れば過去最大となりました。コロナ禍における当コンテストの準備は、暗中模索、不確実性への対処の連続であったと察します。応募に関係された

方々を含め、実施にご尽力いただいた関係者の皆様に深甚なる謝意を表する次第です。

さて、コロナ禍に対する議論を振り返ると、「コロナ禍への対応（積極的介入）が不可欠であることに異論はないものの、その具体的対応となると突然混乱し、結論が出ない」ことがあったかと思えます。このような「科学だけでは答えが出ない」問題が世の中には多いことに気付かされます。防災に関する問題の中には、これに該当するものが多いのも事実です。この種の問題の解決には、適切な情報の入力と合意形成を図るためのプロセスが重要となります。当コンテストの応募作品は、家族あるいは地域といった複数の意見が飛び交う環境下で、一定の結論を導き出したものです。したがって、応募者にとっては成果物だけでなく、一定の方向性を出したプロセス自体が大きな資産となるはずです。

当コンテストの大きなねらいの一つは、優秀作品（づくり）の情報共有を通して、地域防災力の底上げを図ることです。応募者以外の方々も応募者同様、その結果（作品）だけではなく、作品となるまでのプロセスを想像していただきたいと思えます。特に、上述のコロナ禍前後の「境界」線を見出していただき、これまでと異なる“これからの防災”に生かしていただくことを願っています。

2020 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品集



表彰式で辻子委員長（左）から賞状を受け取る、最優秀賞の増田優里さん
＝2020年12月19日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



壇上に並ぶ奨励賞受賞者



壇上に並ぶ入選受賞者



作品で工夫した点など、司会者からの質問に答える上位の受賞者



入賞の力作を並べた作品展



鯖江市北中山小学校6年
増田 優里さん

受賞者コメント

テレビで、「コロナ禍で災害が起きたら」というニュースを見ました。そこで、実際に災害が起こったらどうなるのだろうと疑問に思ったので、調べて防災マップにまとめようと思いました。

防災マップを作るにあたって苦労したのは、実際に避難ルートを歩いてみたことです。二つのルートを決め、それぞれ明るい時間と暗い時間に避難してみました。暗い時間の避難は、ライトをつけても、前が見えにくいので、だから、お年寄りには危険です。危険を減らすため、私たちが防災リュックを持ったり、安全を確認したりすることが大切だと考えました。

防災マップを作るまではとてもこわかったけれど、コロナ対策をしっかりとれば大丈夫ということが分かり、少し安心しました。私は、たくさんの方が災害やコロナに対する正しい知識を持ってほしいです。そして、災害で命を落とす人が減ることを願っています。

講評 (審査委員長) 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

「感染症と災害」をテーマに掲げた今年を象徴する作品です。「今、災害が起こったらどうなるのか」との明確な課題設定から、避難所の問題(密への対応)、避難経路の問題(陥没の危険性)を洗い出しています。感染症への対応も見据え防災リュックの中身を具体的に示しています。かつ、それらが色分けされており、とてもわかりやすくなっています。この作品を見て「わが家でも準備しなくては」と気付く人も多いのではないのでしょうか。

感 染 症 と 災 害

今年、新型コロナウイルスが世界中で大流行しています。
私は、もし、今、災害(地震)が起きたらどうなるのかと、疑問をもったため、対策のしかたを考え、家族で話し合うことにしました。

～もし、今の日本に地震が起きたら～

① **せまい!**
上戸町の人口は、約300人いますが、全員が避難するとなると、とても密になってしまいます。避難所を回遊するために、仕切りをつくなど工夫が必要だと思います。

② **割れ目が入っている道**
第1ルートに、割れ目が入っている道があります。地震が起きたら、おんぼつしてしまう可能性があります。おんぼつしている場合は、割れ目の少ない、第2ルートで避難します。

わが家の防災マップ

★避難所でのコロナ対策★

- ・3密をさける(密閉、密集、密接)
- ・こまめにかん気をする
- ・家族ごとに仕気りをつくる
- ・ドアノブの消毒・手の消毒・手洗い
- ・朝、晩、2回の検温
- ・ソーシャルディスタンスをとる
- ・マスクをする

簡易マスクの作り方

材料

- ① キッチンペーパーをはしから段々におろす。
- ② 輪ゴムを2個ずつ結ぶ。
- ③ 紙マスクの左右に輪ゴムをおく。
- ④ ホチキスでとめる。(備えるJPM)

＜おやこ防災のすすめより＞

- ・災害時は、「自分の命は自分で守る」という意識をもち、落ちついた行動をとる。
- ・在宅避難する場合は、くつをはき足を守る。
- ・災害時にメッセージを残せる「災害用伝言ダイヤル(171)」、公衆電話は、古い電話・固定電話と比べ、つながりやすい。
- ・食料は、「ローリングストック」方式で備える。1週間分の食料・水を家族全員分用意する。山道から運ばれてくるもの(医薬品)など。

わが家の防災リュック点検

中身(○の字は食料、●の字は物)

- ・水…3本
- ・乾飯系…4袋
- ・乾物の缶詰…4個
- ・カンパン…1個
- ・パン系…2個
- ・割りばし
- ・かい中電灯・かん電池・かんセカリ
- ・スリッパ
- ・軍手
- ・凝固剤
- ・トイレ用ペーパー
- ・ミズイラス
- ・防塵用シート
- ・ウェットティッシュ

＜コロナ対策として必要なもの＞

- ・マスク
- ・体温計
- ・アルコール消毒液

＜その他必要なもの＞

- ・医薬品
- ・雨具
- ・ラップ
- ・現金
- ・保険証などの写し

＜おやこ防災のすすめより＞

- ・すぐ必要なもの…照明、手足を守るもの、助けを呼ぶもの
- ・就寝時に地震が起きた場合、手がどく枕元に用意しておく。
- ・避難生活に必要なもの…かい中電灯、手袋、ヘッドライト、マスク、食料、けいぞうラジオ、連絡先メモ、衛生用品など
- ・玄関など、すぐに取り出せる場所に置く。
- ・避難生活に必要なもの…着がえ、食料など
- ・落ちついたら取りに帰る。

感染症と災害4か条

- ① 避難所では、コロナ対策をしっかりと、うつつさない。うつつされないように気をつける。
- ② 食事などは我慢せず、栄養のある物を食べる。
- ③ 在宅避難が危険ではないか、冷静に考え、落ちついた行動をとる。
- ④ 命が最優先!!



福井新聞
社長賞

福井市社南小学校6年
山田 梨愛さん

講評 (審査委員長)

掲示しやすいサイズのコンパクトな紙面に、新聞のような体裁で重要な防災情報がぎっしりと詰め込まれています。文字や絵が丁寧で、とても読みやすくなっています。防災では危険度を示すために赤や黄色を使うことが多いのですが、当作品は落ち着いたブルーを基調としている点も斬新です。1〜10の項目を1日一つずつ復習し、それを年中繰り返すことで、防災意識を継続的に維持するといった使い方ができそうです。

受賞者コメント

私が、山田家の防災について書こうと思ったのは、学校で防災のことを習い「コンクールで入賞しよう」という目標を持ったからです。この機会に、改めて防災の大切さを知れ、家族と話し合いもできてよかったです。
私が、山田家の防災について書くにあたり工夫した点は、それを見た時、「読んでみたい!!」となるように色使いをカラフルにしたところです。カラフルにしたことで、目に入り、読んでみたいと思わせることが出来たと思います。
私が住んでいる地域の危ないところの写真をとりに行ったり、おじいちゃんにインタビューするところが苦労しました。
私の中での防災は、生きていくうえで最も大切なことであり、皆がそれを知っておく必要があるものだと思います。また、もし災害が起こった時の備えが大切です。この機会に家族とも話し合い、災害の時の準備物も確認できたので、災害時、役にたてようと思います。



NHK福井放送
局長賞

福井市順化小学校4年
藤本 大翔さん

講評 (審査委員長)

力強い作品というのが第一印象です。自身で水深30cm、50cm、100cmの水の中に入り、その際の生々しい体験談を紹介しています。とても怖い思いをしたと思います。この体験を通じて導き出されたであろう「その時の一番安全な場所によろ!」は説得力ありますね。非常食リストに関しても、とても具体的で、自宅のストックの確認まで行い、「買いつけず」準備行動を促すリストになっています。

受賞者コメント

ぼくは、防災コンテスト参加が三度目です。毎年つねに新しいじょうほうを集めて取り入れてきました。特に2020年は新型コロナウイルスが大流行していて、もし大きな災害が起こったら今までの対さくではみんなの命を守ることができないと思ったのでマップに取り入れました。ソーシャルディスタンスをたもちながらのひ難は工夫が必要だと分かりました。ひ難場所をじょうきょうによって変えるのも工夫の一つではないかと考えました。ぼくは、幸いにも大雨洪水を体験したことがなく、実感が持てないので、海で、はき物くらべや水の中を歩く実験をしました。そこで、なぜ短ぐつをはかないといけないかが身をもって分かりました。この自分の体験や本や新聞の防災じょうほうを組み合わせ、わが家にぴったりの防災マップができたと思いますが、アップデートを続けていきたいです。



福井市社南小学校6年
高橋 明日奏さん

講評 (審査委員長)

避難所、避難経路、タイムライン、避難時の服装、準備物等、防災に関する情報が網羅されており、それぞれとても具体的です。避難所への持参物の中に、スマホ、パソコン、タブレットなどの電子機器とともに充電器やモバイルバッテリーなども含まれています。この作品づくりの過程で、避難所でのモバイル機器を用いた情報収集を中心に、避難所での生活全般を熟考されたことがうかがえます。



受賞者コメント

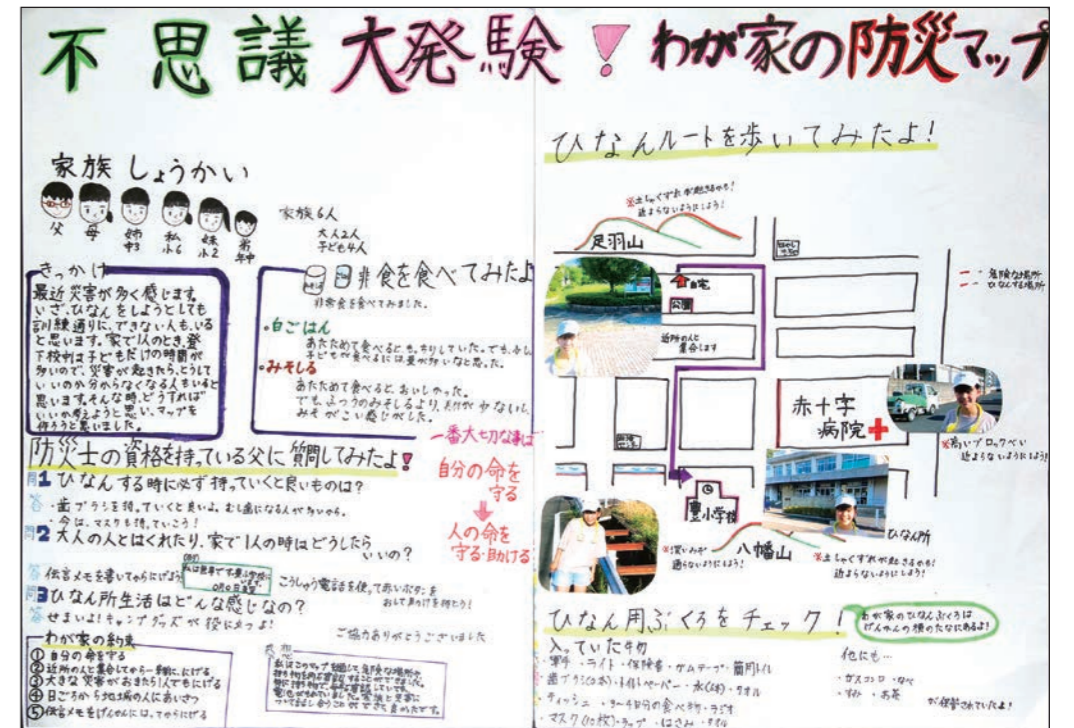
防災マップを作ったきっかけは、学校の授業で「みんなで防災マップを作って、家の中にはろう」と提案されたことです。工夫した所は、実際に祖父と母と一緒に近所の川まで行って、ふだんの川の写真をとったり、福井豪雨の時の話を聞いたり、父や母に、家の中でしている災害対策について話を聞いて、それをのせたことです。ひなんする時に持って行く防災リュックについてインターネットで調べたのですが、インターネットには、情報がたくさんあり、その中から必要な物を母と話し合ったり、考えて書くのが苦労しました。私は、防災マップを作ってみて、災害は身近なものであり、災害に備えておくことは大切なことなんだなあと感じました。私の家で準備できていないものを家族と話し合ったり、ネットだけでなく、自分で考えて必要な物を考えたり、自分用のリュックを用意していつ来るかわからない災害に備えたいです。



福井市豊小学校6年
石橋 朱里さん

講評 (審査委員)

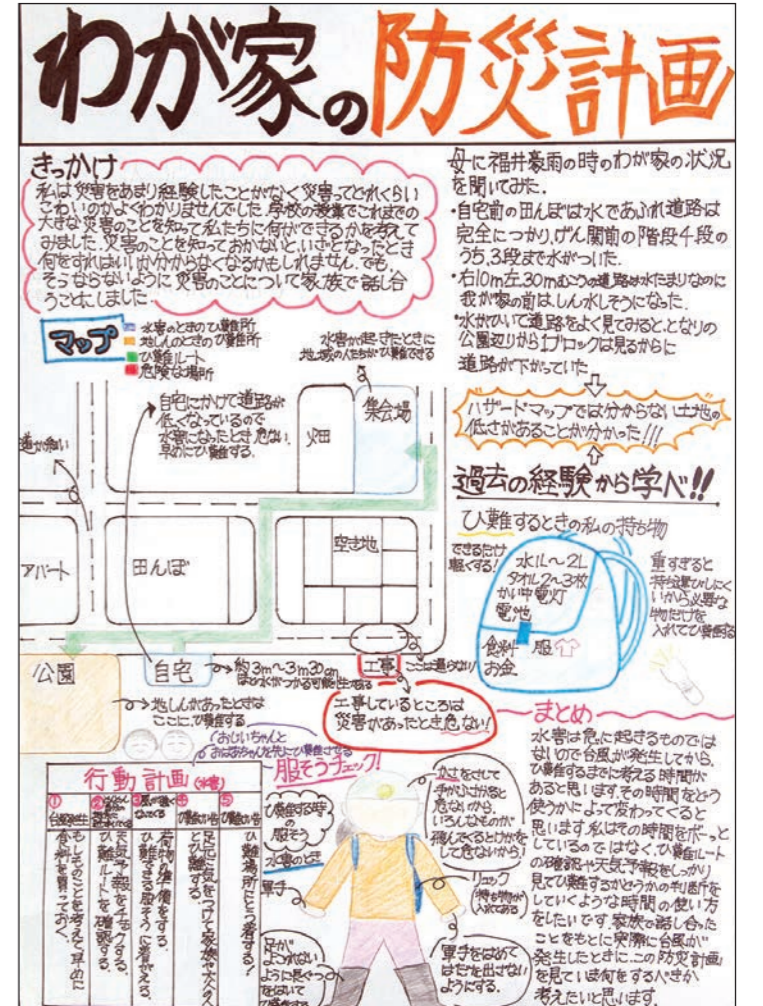
防災士のお父さんの意見も聞いて、避難用袋の中身をチェックするなど家族の中でしっかり話し合っていることがうかがえます。避難ルートも実際に歩いてみるなど積極的に避難行動につなげようとしています。近い将来はお父さんのように地域での活躍が期待できる作品です。



福井市社南小学校6年
小川 あいさん

講評 (審査委員)

水害の避難時の行動計画を自分なりにしっかり考えているところが良かったと思います。お母さんから聞いた福井豪雨の話を生かして作ったマップもわかりやすく、ハザードマップ以上のリスクまで整理されています。小川家の防災力が確実に向上することでしょう。

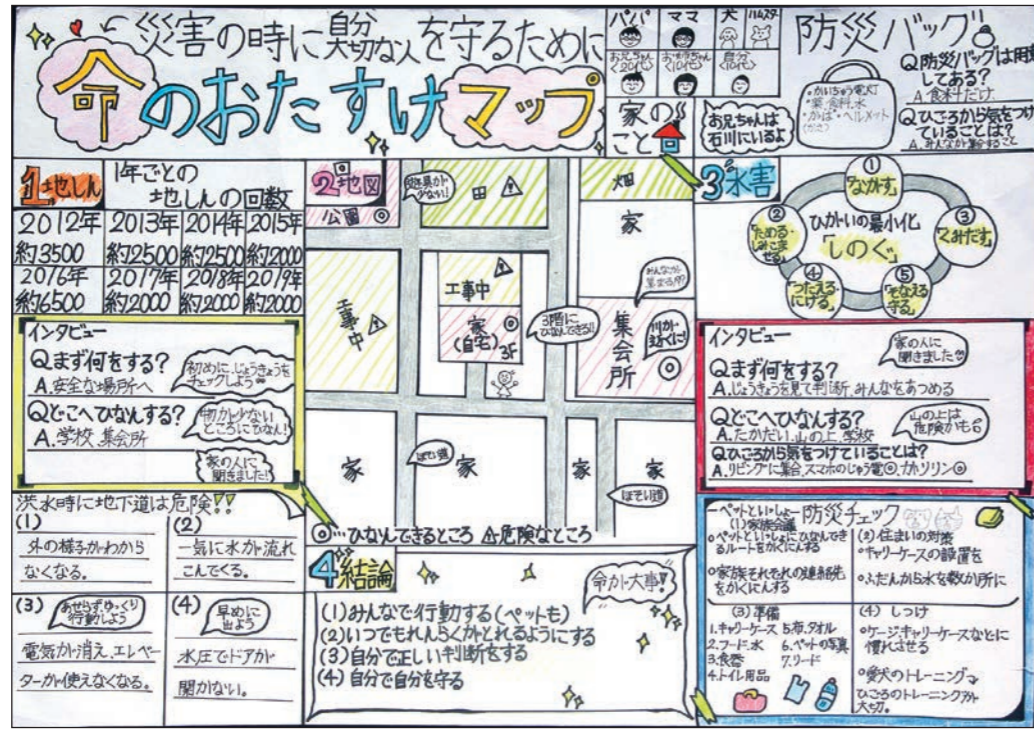




福井市社南小学校6年
中村 美月さん

講評 (審査委員)

自宅周辺では洪水による水害が発生するリスクがあることを理解した上で、地下道の危険性や自宅の3階に避難できることなど水害への対策を考えた点がよかったと思います。ペットと一緒に避難する場合に備え、日頃からの準備をまとめたこともよかったです。



坂井市平章小学校4年
高島 莉望さん

講評 (審査委員)

福井県でも大雨や豪雪などたくさんの災害があったことを調べ、自宅周りで大雨や地震が起きた時の危ない所をマップ化した点がよかったと思います。東日本大震災から学ぶことやローリングストック方法など、もしもの災害に備えて、今から準備してください。



福井市社南小学校6年
中村 璃星さん

講評 (審査委員)

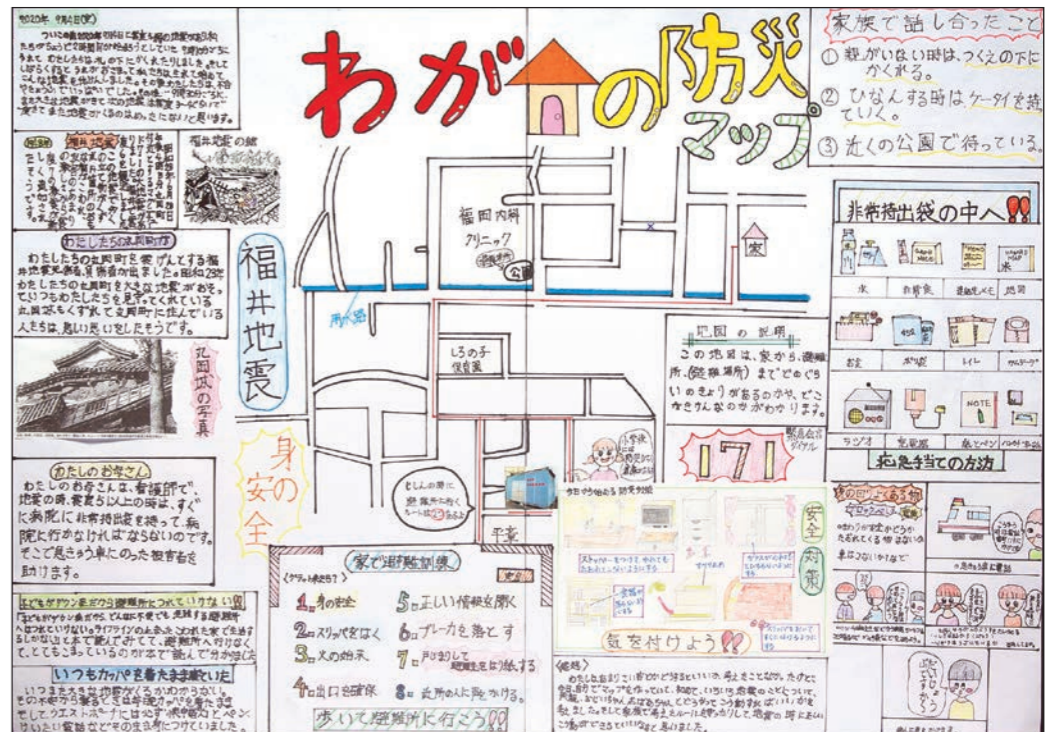
家族との約束3か条を決め、マイタイムラインによる具体的な行動を整理するなど、家族の中でしっかり話し合った作品です。防災リュックの中身を再度見直すなど、普段から災害に対する意識を高く持って、避難行動につなげようとしていることがうかがえます。



坂井市平章小学校4年
坪田 みのりさん

講評 (審査委員)

2020年9月の震度5弱の地震で、1948年に発生した福井地震のことを調べ、家族で話し合い、避難訓練に取り組んだ点が評価できます。また、看護師であるお母さんの仕事を踏まえて、応急手当の方法を記載されていることが特徴的な作品となっています。





坂井市平章小学校4年
中川 陽太郎さん

講評 (審査委員)

自宅から避難場所までの経路を詳しく調査し、危険ポイントをわかりやすくまとめた作品です。また、災害に対する普段の備えや準備物、災害時の注意点も記載されています。防災備蓄倉庫内の備蓄物を調べたことも素晴らしいです。



坂井市平章小学校4年
坪川 直生さん

講評 (審査委員)

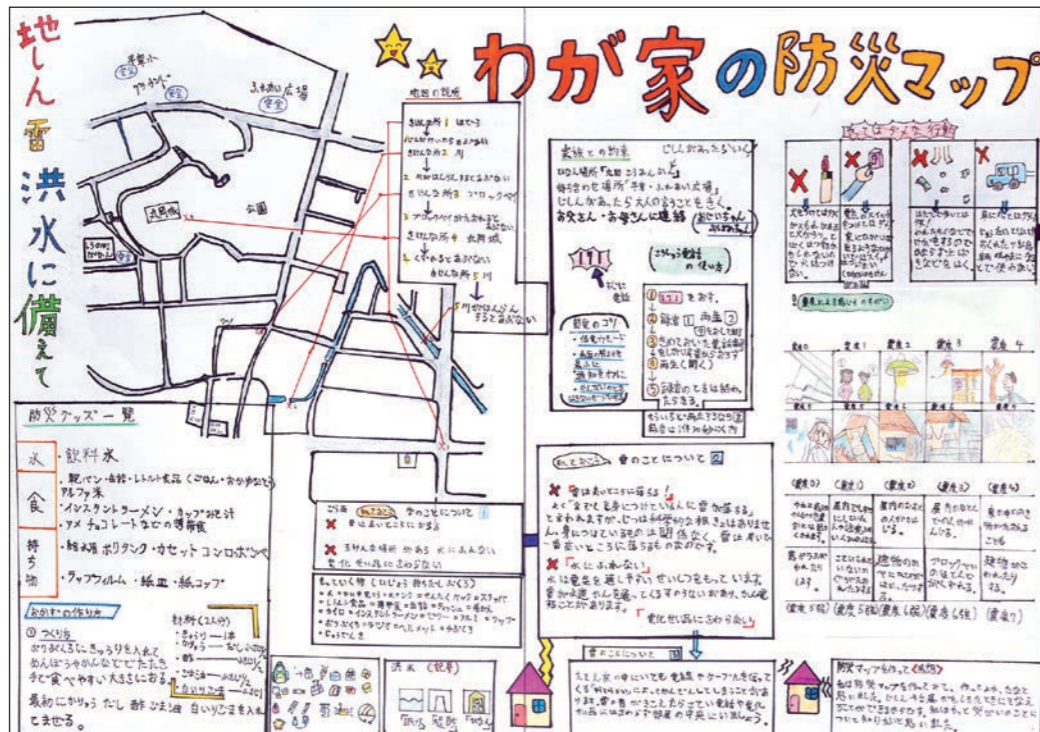
自分自身がさまざまな状況で災害にあうことを想定しながら、事前に準備できることやその上での課題などを上手にまとめています。料理豆知識はすぐに使える情報で、感心しました。いつ避難所に行っても心配はありませんね。



坂井市平章小学校4年
藤田 ちほさん

講評 (審査委員)

自宅周辺の地図を丁寧に作成しています。危険箇所や安全な場所が把握でき、防災グッズを絵で表現したり、震度を絵と言葉で説明するなど、誰が見てもわかりやすい工夫された作品です。公衆電話の使い方は、非常時にきっと生かされることでしょう。



坂井市平章小学校4年
稲垣 翔月さん

講評 (審査委員)

地震が発生した時にとるべき行動を順序立てて分かりやすくまとめています。イラストを用いながら全体的にすっきりきれいにレイアウトしており、目で見てすぐ行動につながるマップとなっています。項目ごとに色を使い分けしているのも大変効果的です。

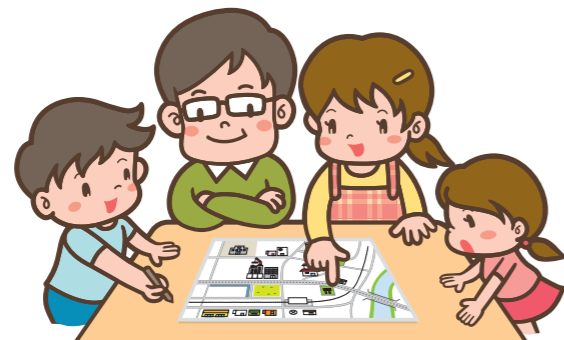




坂井市平章小学校4年
松江 陽南さん



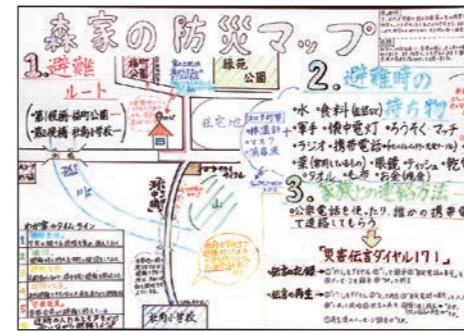
講評 (審査委員)
家族で決めたことや地震についてなど、写真やイラストをたくさん活用して上手にまとめています。少人数だけが人を運ぶ方法や避難生活で気を付けることについてもよく調べてあり、感心しました。役立つ情報がたくさんつまっている作品だと感じました。



福井市日之出小学校4年
櫻井 栄太郎さん



福井市社南小学校6年
森 麻友佳さん



福井市社南小学校6年
松浦 知花さん



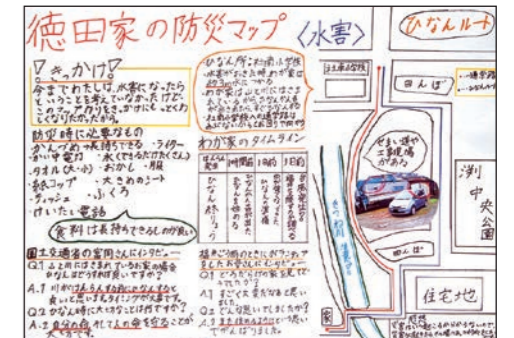
福井市社南小学校6年
工藤 蒼依さん



福井市社南小学校6年
北川 愛海さん



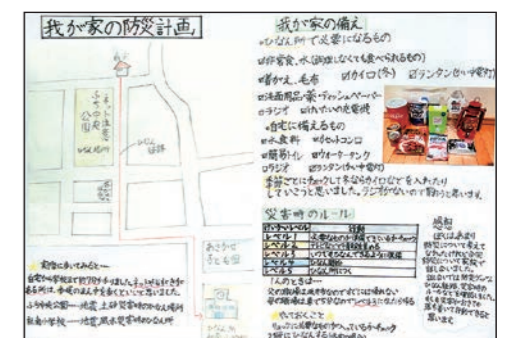
福井市社南小学校6年
徳田 悠里さん



福井市社南小学校6年
新屋 琳子さん



福井市社南小学校6年
木村 悠生さん

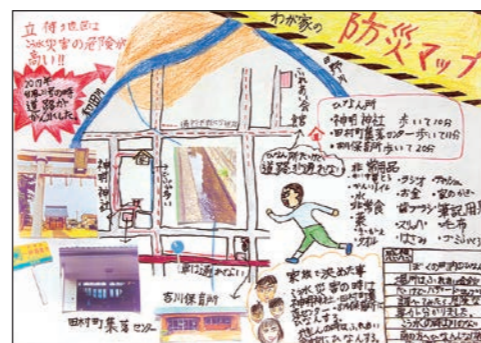




福井市社南小学校6年
梅田 歩知さん



鯖江市立待小学校4年
橋本 稜央さん



坂井市平章小学校4年
蜷川 涼香さん



越前市吉野小学校5年
長濱 実桜さん



坂井市平章小学校4年
寺前 津実希さん



坂井市平章小学校4年
齊藤 彩乃さん



越前市吉野小学校5年
岩上 茉夏陽さん



越前市吉野小学校5年
横井 心瑚さん



坂井市平章小学校4年
北村 あかりさん



坂井市平章小学校4年
山本 睦弥さん



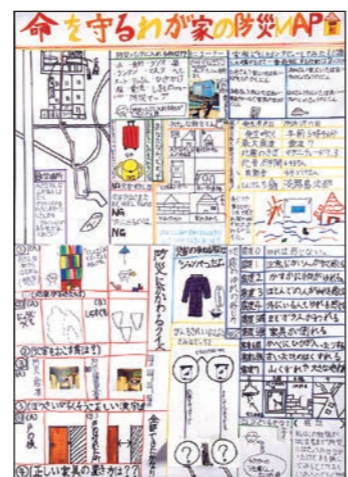
坂井市雄島小学校4年
檜山 のあさん



坂井市平章小学校4年
澤崎 煌さん



坂井市平章小学校4年
安居 美咲さん



主催／ふくいの水防災を考える会
(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局
後援／福井県教育委員会 福井県防災士会
特別協賛／JA共済連 福井
協賛／近畿建設協会
協力／ミドリ防災

令和3年2月発行

防災出前授業やってます!

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。